

ホタテガイ採苗速報

青森県

増養殖研究所
青森地方水産業改良普及所
むつ水産事務所
水産振興課

ラーべの出現数は例年より少なめです

4月6日～7日に陸奥湾30定点で、第1回湾内一斉ラーべ調査を、4月3日～9日に陸奥湾6地点で母貝調査（養殖2年貝の生殖巣指数調査）を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイラーべの出現数と大きさ

全湾におけるホタテガイラーべの出現数は図1、各地の出現数は表1、図2のとおりです。

西湾平均は605個/トン、東湾平均は1,241個/トン、全湾平均は859個/トンと、昨年の同時期（それぞれ4,080個/トン、4,050個/トン、4,065個/トン）より少ない出現数となっています。

200ミクロン以上のラーべの割合は全湾平均で4.9%でした。260ミクロン以上のラーべは見られませんでした。

2 ホタテガイ母貝調査結果

今回の生殖巣指数は、西湾平均で14.7、東湾平均で18.4、全湾平均で16.6と、前回（西湾17.2、東湾25.9、全湾21.6）より低下しました。

3 水温の状況

4月6日～9日の水温は、平館ブイで8.0～9.6、青森ブイで6.1～8.3、東湾ブイで3.8～6.7でした。平年に比べると、平館ブイの全層で平年並み、青森ブイの1m～15m層で平年並み、30m～底層でやや高め、東湾ブイの1m～30m層でやや低め、底層でかなり低めでした。

4 ムラサキガイ等ラーべの出現状況

ムラサキガイとキヌマトイガイのラーべは西湾平均でそれぞれ21個/トン、117個/トンと、昨年の同時期（それぞれ128個/トン、672個/トン）よりも少ない出現数となっています。

ヒトデのラーべは全湾平均で9.8個/トンと、昨年の同時期（5.2個/トン）よりも多い出現数となっていますが、初期のラーべが多く、付着直前のブラキオラリア幼生は見られませんでした。

5 今後の見込み

ホタテガイラーべの出現数は例年より少ない状況ですが、3月下旬に東湾で大規模な産卵があったので、今後、小型のラーべが出現する見込みです。また、200ミクロン以上のラーべもわずかながら見られてきていますので、採苗器の投入時期については今後の情報に十分注意してください。

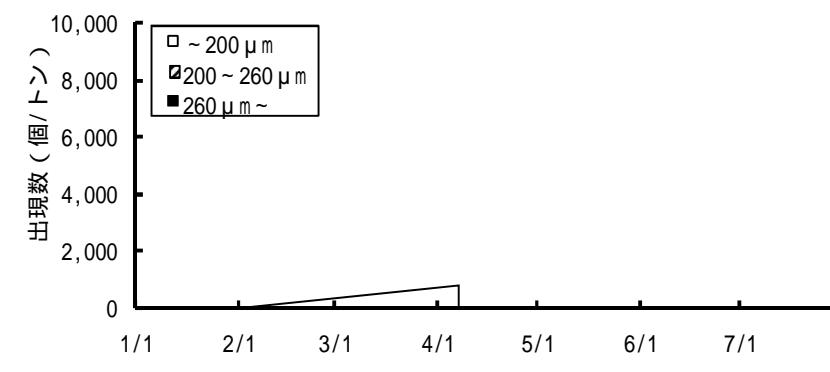


図1 全湾におけるホタテガイラーべ出現数

表1 地先別平均出現数

	全出現個数	200ミクロン以上		260ミクロン以上	
		個数	割合	個数	割合
平館	6	0	0.0%	0	0.0%
蟹田	222	0	0.0%	0	0.0%
蓬田村	117	0	0.0%	0	0.0%
後潟	71	0	0.0%	0	0.0%
奥内					
油川					
造道	2,139	201	9.4%	0	0.0%
原別					
久栗坂					
土屋	302	13	4.3%	0	0.0%
茂浦	458	0	0.0%	0	0.0%
浦田	632	38	6.0%	0	0.0%
東田沢	683	44	6.4%	0	0.0%
小湊	2,658	107	4.0%	0	0.0%
清水川	265	7	2.5%	0	0.0%
野辺地町	1,666	0	0.0%	0	0.0%
横浜町	989	69	7.0%	0	0.0%
むつ市	483	0	0.0%	0	0.0%
川内町					
脇野沢					
西湾中央	2,380	243	10.2%	0	0.0%
東湾中央					
西湾平均	605	46	7.6%	0	0.0%
東湾平均	1,241	37	2.9%	0	0.0%
全湾平均	859	42	4.9%	0	0.0%

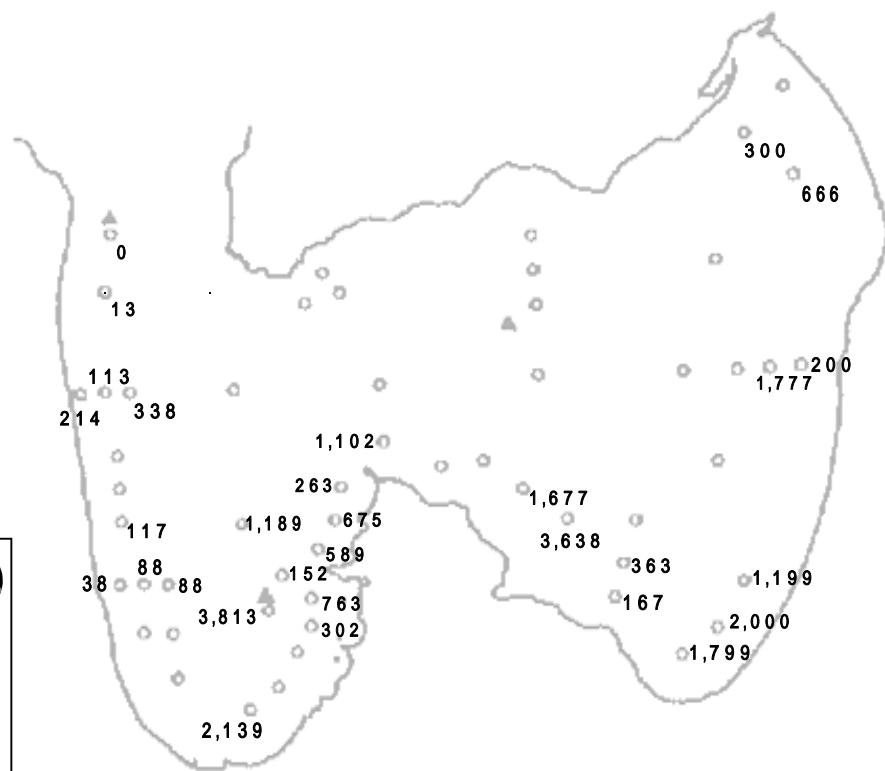


図2 調査地点毎の平均ラーべ出現数（個/トン）